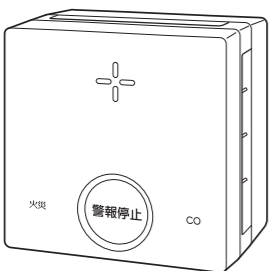


取扱説明書 [保証書付]

型式名 SC-335

住宅用防災警報器 (特例基準:CO反応式)検定合格品  
一般財団法人 日本ガス機器検査協会検査合格品



PLUSCO  
プラスコ

このたびは、一酸化炭素検知機能付き火災警報器(以下、警報器という)をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

**CO反応式とは?**  
総務大臣により制定された特例基準に基づいた住宅用火災警報器です。  
(特) =光電式住宅用火災警報器(CO反応式)特例基準マーク  
火災警報器が一酸化炭素(CO)を約100ppm検知した場合、煙感度を通常設定より約2倍に高める機能です。

**警報器の機能について**  
● 火災による煙を感じて音声で警報を発する機能や、住宅で発生する一酸化炭素(以下COという)を検知して音声で注意報を発する機能を持っていますが、火災の発生や住宅におけるCOの発生を未然に防止する装置ではありません。  
火災やCOの発生などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。  
● 換気扇などにより煙が吸引され、煙が一定濃度以上にならないときは、火災警報機能が働きます。  
● CO検知部にCOが到達しないときは、CO注意報機能が働きます。  
● 警報器を取り付けていない部屋は、火災の監視ができません。また、取付場所近くのCOには注意報を発しますが、他の部屋で発生したCOには注意報を発しないことがあります。  
● 消防法で定める住宅用火災警報器として設置できます。  
● 消防法に規定された「自動火災報知設備」には代用できません。

新コスモス電機株式会社

〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4

HP URL <https://www.new-cosmos.co.jp/>



	新コスモス電機(株)サポートセンター	電話受付時間
お問い合わせ先	0120-621-250 または 03-6625-7056	9:00~17:00 平日のみ ※当社指定休業日を除く

1. 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

- 危険** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。
  - 警告** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
  - 注意** 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。
- 絵表示の内容
- 「一般的な禁止」事項を示しています。
  - 「分解禁止」事項を示しています。
  - 「水ぬれ禁止」事項を示しています。
  - 「必ず行う」事項を示しています。

危険

火災警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。

- 必ず行う** 火元を確認し、119 番へ通報するなどの適切な処置をしてください。
- 必ず行う** 消火が不可能なときは、避難してください。
- 必ず行う** 注意報音の鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をしてください。  
※原因が特定できない場合は避難してください。
- 禁止** 部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

警告

- 分解禁止** 分解や改造はしないでください。故障の原因となります。
- 禁止** 衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 必ず行う** 警報器の取り付け、取り外し、定期点検、異常時の点検・処置などを行うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。転落・転倒・落下によるケガのおそれがあります。
- 必ず行う** 定期的に(1ヶ月に1回程度)警報停止スイッチを操作して、警報器が正常に動作するか点検をしてください。また、1 週間以上留守にされたときは、警報器が正常に動作するか点検をしてください。
- 禁止** ライターの炎やタバコの煙などを使って、点検を行わないでください。火災や故障の原因となります。

注意

- 禁止** 警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。火災警報やCO注意報の遅れの原因となります。
- 禁止** 取付ねじ1本で壁面に取り付けられている場合は、引きひもを使用しないでください。警報器が落下するおそれがあります。
- 禁止** 警報器に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。聴力障害などの原因になるおそれがあります。
- 必ず行う** 設置後、10年(交換期限)を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。正常に動作しないおそれがあります。
- 水ぬれ禁止** 警報器を水につけたり、水をかけたりしないでください。故障の原因となります。
- 禁止** 引きひもを引いて火災警報音を停止するとき、および定期点検をするときは、強く引いたり、ぶら下がったりしないでください。警報器の落下や、ひも切れまたはひもが外れるおそれがあります。

2. 各部のなまえとはたらき

- **スピーカー** 火災警報音やCO注意報音が鳴ります。
- **黄(CO注意報)LED** COを検知すると点滅します。
- **赤(火災警報)LED** 火災警報時に点滅します。
- **煙感知部** 煙を感じます。火災などにより、警報器周囲の煙が一定濃度以上になると、それを感じて火災警報を発します。
- **警報停止スイッチ** 警報停止スイッチを操作すると火災警報音を停止させたり、定期点検を行うことができます。  
★ 警報停止スイッチを押すことまたは、引きひもを引いて操作することをいいます。
- **CO検知部** COを検知します。警報器周囲のCOが規定濃度以上になるとCO注意報を発します。
- **引きひも取付部** 引きひもを取り付けることで、警報停止スイッチと同じ操作ができます。引きひもは付属されていませんので、お客さまで市販の引きひもをご購入ください。

引きひもについて

注意

引きひもを取り付けるとき、取付部が引かれて警報音が鳴ることがありますので、注意してください。

推奨ひも 市販の照明用スイッチひもなど  
(太さφ0.7~1.0mm程度)

- ① 引きひもを本体に取り付ける前に、先端を伸仕結びする。
  - ② 結び目を引きひも取付部に引っ掛けて、引きひもを溝に通す。
- 確認**  
引きひもを取り付けた後は、数回引きひもを引き、正常に操作できることを必ず確認してください。

LEDのつきかたについて  
取扱説明書中のLEDの点滅は次のように動作します。

点滅	1秒おきに1回点滅	1秒	点滅周期
電池切れ点滅	10秒おきに1回点滅	10秒	点滅周期
故障点滅	10秒おきに3回点滅	10秒	点滅周期

3. 商品のご確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

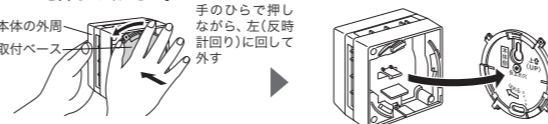
警報器本体…1個	取付ねじ…2本
取付ベース…1個 (本体に取り付けられています。)	石膏ボード用 仮止めピン…1個
石膏ボードピン…5本(予備:1本)	専用リチウム 電池…1個
スタートガイド…1冊	取扱説明書(保証書付) …1冊

4. 警報器の取り付け

4-1 取り付ける前に

警報器本体から取付ベースを取り外す

本体を持ち、取付ベースを手のひらで押しながら、左(反時計回り)に回して、取付ベースを外してください。



おながい

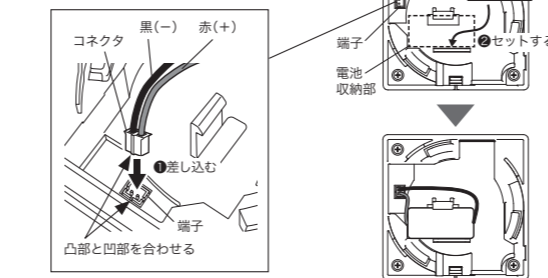
取付ベースを引っ張りながら回さないでください。取り付け時の本体落下防止の安全ロック機構が働くため、取付ベースは外れません。

電源を入れる

注意

- コネクタの接続にドライバーなどを使用しないでください。コネクタが破損したり、専用リチウム電池がショートする原因になります。
- リード線の赤(+)と黒(-)の向きを間違えないように、確実に差し込んでください。
- 専用リチウム電池の外装フィルムは電池を保護するものです。はがさないでください。

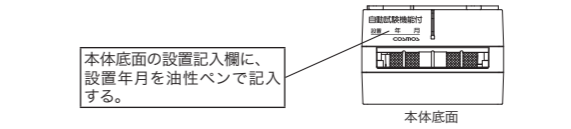
- ① 電池のコネクタを、警報器裏面の端子に差し込み(電源投入)、電池を電池収納部にセットしてください。



- ② 「ピッ」と鳴り、約30秒間、黄(CO注意報)LEDが点滅した後、全てのLEDが点灯してから消灯し、「警報器正常です」とお知らせします。



警報器本体への設置年月の記入



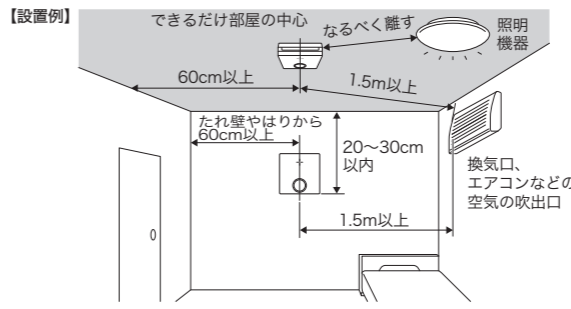
4-2 取付位置の確認

注意

正しい取付位置に取り付けてください。取り付けてはいけない場所に取り付けると、火災警報およびCO注意報の遅れ、誤作動、故障の原因となります。本警報器はガス機器の設置基準及び実務指針に記載されているガス警報器の設置場所には設置できません。

正しい取付場所について

※ 設置および維持基準については、政省令で定める基準に従い、市町村条例で定められています。各市町村によって設置場所が異なる場合がありますので、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。



- 警報器のスイッチが操作しやすく、LEDが見やすい位置に取り付けてください。
- 天井面に取り付ける場合は、壁やはりから60cm以上離れた位置に取り付けてください。

- 壁面に取り付ける場合は、警報器の底面が天井面下20cmから30cmまでの範囲にくるように取り付けてください。

- 換気口など、空気の吹出口から1.5m以上離してください。

- 壁面に取り付ける場合は、できるかぎりたれ壁やはりから60cm以上離してください。

取り付けてはいけない場所について

- 以下の場所には、絶対に警報器を取り付けてください。誤作動や警報の遅れの原因になります。
  - 温度が0℃~+40℃の範囲をこえる場所。
  - 屋外。
  - カーテンウォールなどで仕切られた場所。
  - 振動、衝撃の激しい場所。
- タンスなどから60cm以内の場所。
- 火災以外の煙や蒸気がかかる場所、車庫など。

4-3 取り付けかた

注意

- 取付位置の材質・強度を確認し、土壁や強度の弱い合板には取り付けないでください。
- 取付強度を保持するため、石膏ボードピンは根元まで差し込んでください。万一、ピンがゆるんだ場合は、取付位置をずらしてピンを付け直してください。

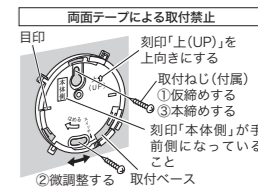
おながい

石膏ボードに取付ねじで取り付けの場合、必要に応じて市販の石膏ボード用アンカー(φ3.5mm木ねじ用)を使用してください。

取付ベースの取り付け

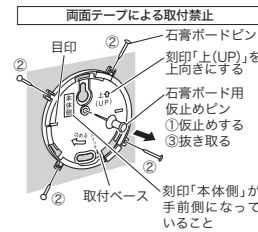
■木質などの壁面に取り付ける場合 (取付ねじ2本で固定する)

- ① 取付ベース外周部の目印が壁面の目地などと平行になるように、取付ベースを図のように取付ねじ(2本)で壁面に仮締める。
- ② 取付ベースを左右に回転させて、取付角度を微調整する。
- ③ 取付ねじ(2本)を本締める。



■石膏ボードの壁面に取り付ける場合

- ① 石膏ボード用仮止めピンを、仮止め穴に差し込んで仮止める。
- ② 取付ベースの目印が壁面の目地などと平行になるように、取付ベースを図のように石膏ボードピン(4本)で壁面に固定する。
- ③ 石膏ボード用仮止めピンを抜き取る。



**確認**  
取付ベースが、壁面に密着していることを確認してください。

■天井面に取り付ける場合

警告

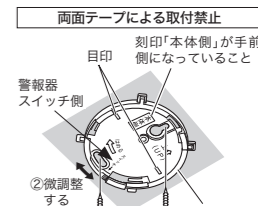
天井面に取り付ける場合は、引きひもは使用しないでください。引きひもを強く引くと、本体が落下するおそれがあります。

注意

天井面に取り付ける場合は、石膏ボードピンを使用しないでください。

木質天井面や石膏ボードの天井面では、補強材が通っている箇所に取り付けてください。

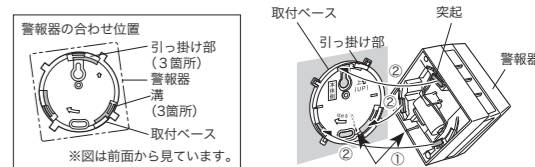
- ① 取付ベースの目印が天井の目地などと平行または垂直になるように、取付ベースを図のように取付ねじ(2本)で天井面に仮締める。
- ② 取付ベースを左右に回転させて、取付角度を微調整する。
- ③ 取付ねじ(2本)を本締める。



**確認**  
取付ベースが、容易に脱落しないことを確認してください。

警報器の取り付けかた

- ① 取付ベースの刻印「スイッチ」と警報器のスイッチの位置を合わせる。
- ② 取付ベースの引っ掛け部の手前、警報器裏面の突起(3箇所)を合わせる。



おながい

- 引きひもを使用する場合はP3「引きひもについて」を参照ください。
- 警報器を取り付けた後で引きひもが引けることをご確認ください。

- ③ 本体を押し付けながら、右(時計回り)に回して固定する。

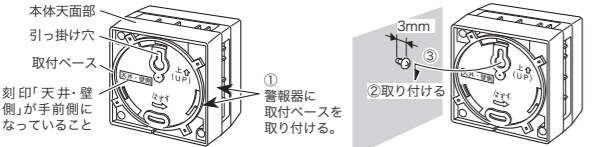


## ■木質などの壁面に壁掛け取り付ける場合 (取付ねじ1本に引っ掛けて取り付ける)

### ⚠ 警告

木質などの壁面に壁掛け取り付け(取付ねじ1本に引っ掛けて取り付ける)をする場合は、引きひもは使用しないでください。  
引きひもを強く引くと、本体の落下により、お客さまがケガをするおそれがあります。

- 取付ベースの刻印「スイッチ」と警報器のスイッチの位置を合わせながら、取付ベースの引っ掛け部の手前に警報器裏面の突起(3箇所)を合わせて、取付ベースを回して取り付ける。
- 取付ねじ(付属)を壁面から3 mm出るように取り付ける。  
※ ねじを完全に締め付けた状態から1回転戻すと、約2～3 mmになります。ねじが出過ぎると、引っ掛けたときに取付ベースの裏面が破損するおそれがあります。
- 本体の引っ掛け穴部分を取付ねじに引っ掛ける。
- 本体が確実に引っ掛かっていることを確認する。

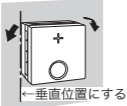


## 警報器の取付角度の微調整

警報器の取付角度は、以下の手順で微調整できます。

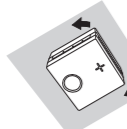
### ■壁面に取り付けている場合

警報器が垂直になるように、少し左右に回して、角度を微調整する。



### ■天井面に取り付けている場合

警報器が天井面の目地などと平行または垂直になるように、少し左右に回して、角度を微調整する。  
※ 角度の微調整の際、警報器を左(反時計回り)に回し過ぎて、「カチッ」と音がした場合は、警報器が外れているおそれがあります。



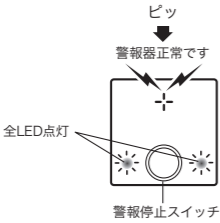
## 4-4 動作確認のしかた

### ⚠ 警告

ライターの炎やタバコの煙などを使って、点検を行わないでください。  
火災や故障の原因となります。

- 警報器が警報動作中や警報音停止中ではないことを確認する。
- 警報停止スイッチを約1秒間押す。  
「ビッ」と鳴り、すべてのLEDが点灯してから消灯し、「警報器正常です」と鳴ると正常です。

※ 以下の異常などがないかを確認できます。  
・ 煙感知部の異常  
・ CO検知部の異常  
・ 電源異常



## 5. 警報音・注意報音が鳴ったときの処置のしかた

### 1『ウーウーカンカンカン 火事です 火事です』 と鳴ったときの処置のしかた 【赤(火災警報)LEDが点滅】または 【赤(火災警報)LEDが点滅と黄(CO注意報)LEDが点滅】

### ⚠ 危険

消火が不可能なときは、避難してください。

必ず行う

警報器周囲の煙が一定濃度以下になると、警報音が止まり、LEDが消灯します。

### おねがい

火災以外の煙などで火災警報を発している場合でも、黄(CO注意報)LEDの点滅の有無を確認してください。  
※ 火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先されるため、音声によるCO注意報は発しません。

### 2『ウーウーピッポッピッポッ』 一酸化炭素を検知しました 危険です 危険です』 と鳴ったときの処置のしかた 【黄(CO注意報)LEDが点滅】

・ 部屋の外にいるときは、すぐに入室をしないで、外からドアや窓を開けて換気してください。  
・ 燃焼機器を使用している場合は、使用中を中止し、ドアや窓を開けて換気してください。  
・ 原因が特定できない場合は、避難してください。  
※ COがなくなれば、CO注意報音が停止します。

### 3『カチカチ』 火災やCO以外で火災警報音や CO注意報音が鳴った ときの処置のしかた

#### 〈火災警報音やCO 注意報音を止めたいとき〉

火災警報音は警報停止スイッチを操作してください。警報音を停止させることができます。  
※ CO注意報音は警報停止スイッチで注意報音を停止させることはできません。

### 1 ドアや窓を開け、しばらく換気続ける。 2 火災警報音の場合は警報器周囲の煙が一定濃度以下になると、警報音は停止します。 CO注意報音の場合は空気がきれいになると注意報音は停止します。

以下の原因が考えられますので、調べてください。

#### 〈火災警報・CO注意報共通〉

- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていません。
- タバコの煙を警報器に吹きかけていません。
- 線香の煙が警報器にかかっていません。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤を大量に使用していません。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が直接かかっていませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。

#### 〈火災警報〉

- 湯気が直接かかっていませんか。
- 調理の煙や水蒸気などが警報器にかかっていません。
- 砂、ホコリ、虫などが警報器の煙感知部に侵入していませんか。

## 噴霧式殺虫剤を使用するときのご注意

### ⚠ 注意

- 警報器を取り付けている部屋で殺虫剤(くん煙式、加熱蒸散式なども含む)を使用すると警報器が鳴動する場合がありますため、本体を取り外し殺虫剤がからない場所へ一時避難してください。
- 噴霧が終わったら、換気後、必ず元の位置に戻してください。

## 6. その他のお知らせ機能について

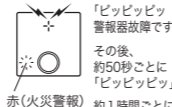
### 電池切れお知らせ機能

電池切れが近づくとき、「ピッ 電池切れです」と鳴り、赤(火災警報)LEDが電池切れ点滅します。その後、約50秒ごとに「ピッ」でお知らせします。  
そのとき、警報停止スイッチを約1秒操作すると、「ピッ 電池切れです」とお知らせします。  
以後、「ピッ」は停止します。  
※ 音声停止中に警報停止スイッチを操作すると、「ピッ 電池切れです」とお知らせします。  
※ 「ピッ」音は夜間でも動作しますのでご了承ください。



### 故障お知らせ機能

故障しているとき、「ピッピッピッ 警報器故障です」と鳴り、赤(火災警報)LEDが故障点滅します。その後、約50秒ごとに「ピッピッピッ」、約1時間ごとに「ピッピッピッ 警報器故障です」でお知らせします。  
そのとき、警報停止スイッチを約1秒操作すると、「ピッピッピッ警報器故障です」とお知らせします。  
以後、「ピッピッピッ」と「ピッピッピッ 警報器故障です」は停止します。  
※ 音声停止中に警報停止スイッチを操作すると、「ピッピッピッ 警報器故障です」とお知らせします。  
※ 電池切れまたは故障お知らせ中でも、煙やCOを検知した場合、火災警報・CO注意報を発します(煙感知部、CO検知部が故障している場合を除きます)。

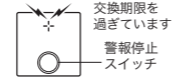


#### 〈故障診断機能、自動試験機能〉

センサを含めた内部回路が正常であることを一定間隔で監視し、故障した場合、自動的に検知し、お知らせします。  
※ 故障診断機能、自動試験機能では、すべての故障は検知できません。

### 交換期限お知らせ機能

設置から10年経過してから警報停止スイッチを約1秒操作すると、「交換期限を過ぎています」とお知らせします。



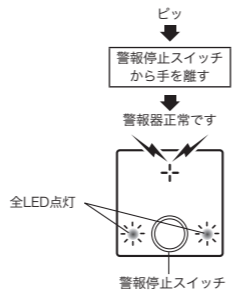
## 7. 定期点検

正常に動作することを確認するために、1ヶ月に1回程度定期点検を行ってください。

### ⚠ 警告

1週間以上留守にされたときは、必ず警報器が正常に作動するか点検をしてください。  
留守中の電池切れ警報を、確認できないおそれがあります。

- 警報器が火災警報・CO注意報動作中や警報音停止中ではないことを確認してください。
- 警報停止スイッチを約1秒操作すると「ピッ」が鳴ります。  
警報停止スイッチから手を離すと、警報器正常ですと鳴ると正常です。
  - 1) 全てのLEDが点灯し、「警報器正常です」と鳴ると正常です。
  - 2) 過去10日以内に警報(火災・CO故障・電池切れ)があった場合、最後に発した警報をLED表示でお知らせします。(P8の〈鳴動原因表示機能〉参照)



警報の種類	赤(火災警報)LED	黄(CO注意報)LED
火災警報	1秒点灯	—
CO注意報	—	1秒点灯
故障警報	1秒間に3回点滅	—
電池切れ警報	1秒間に3回点滅	—

※ 電源投入後約25分間は、この機能が働きます。  
※ 警報器が電池切れまたは故障している場合、この機能は働きません。

## 8. お手入れのしかた

警報器側面のスリット(煙感知部)にホコリやくもの巣がつくと、正しく警報しない場合があります。  
警報器がより良い状態で動作するようにお手入れをおすすめします。

- 警報器を取り外してください。  
(「9.警報器の取り外し・取り付けかた」参照)
- 警報器および取付部付近の壁面または天井面の汚れをふき取ってください。  
布を水または石けん水に浸し、よく絞ってからふき取ってください。
- 本体の表面がよく乾いてから取り付けてください。  
(「9.警報器の取り外し・取り付けかた」参照)
- 本体を取り付けてから、正常に動作することを確認してください。  
(「7.定期点検」参照)

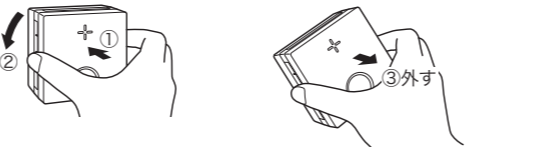


### おねがい

- お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
- アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどを使うと、警報器本体の表面を傷めることがありますので使用しないでください。
- お手入れ後、煙感知部に異物(糸くず、水など)が残っていないか確認してください。

## 9. 警報器の取り外し・取り付けかた

取り外しかた  
押し付けながら、左(反時計回り)に止まるまで回す。



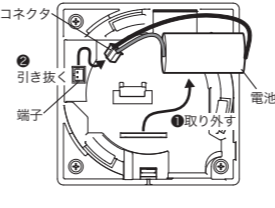
取り付けかた  
P5「警報器の取り付け」を参照してください。  
※ 取付ねじ1本で引っ掛けて取り付けられている場合は本体を持ち上げて取り外してください。

## 10. 廃棄について

警報器を廃棄する場合は、お住まいの市町村の廃棄物の処理方法に従ってください。  
※ 必ず専用リチウム電池を取り出して廃棄してください。

### 古くなった専用リチウム電池の取り外しと廃棄

- 警報器を取り外してください(「9.警報器の取り外し・取り付けかた」参照)。
- 専用リチウム電池を取り出してください。
- 専用リチウム電池を廃棄してください。  
※ この製品に使用している電池は、「一次電池(リチウム電池)」です。  
一般の不燃ゴミとして廃棄できますが、廃棄方法は各自自治体の指示に従ってください。



### ⚠ 警告

取り出した専用リチウム電池のコネクタは、ショートしないようにテープなどを巻いてください。  
リチウム電池の廃棄を誤ると、ショートして発熱・破裂・発火することがあり、ケガをしたり、火災に至るおそれがあります。

## 11. 故障かな?と思ったら

下記の点検・処置をしても異常があるときは、販売店に連絡するかサポートセンターにお問い合わせください。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
約10秒間隔で赤(火災警報)LEDが点滅している。	警報停止スイッチを操作したとき、「ピッ 電池切れです」のメッセージが鳴る。	電池が消費しています。新しい警報器または電池と交換してください。
警報停止スイッチを操作したとき、「ピッピッピッ 警報器故障です」のメッセージが鳴る。	警報停止スイッチを操作したとき、「ピッピッピッ 警報器故障です」のメッセージが鳴る。	警報器の故障が考えられます。新しい警報器と交換してください。
警報音鳴動時に警報停止スイッチを操作しても音声警報が鳴らない。	警報音鳴動時に警報停止スイッチを操作し、音声警報停止状態になっていません。	しばらく(約5分間)待つてからもう一度警報停止スイッチを操作してください。
火災の発生ではないのに、火災警報音が鳴る。または、COの発生ではないのに、CO注意報音が鳴る。	原因を調べてください。(P7「火災やCO以外で火災警報音やCO注意報音が鳴ったときの処置のしかた」を参照)	ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。火災警報音やCO注意報音が止まります。煙感知部内にうちわ、ドライヤー(冷風)などで風を送り、砂やホコリ、虫などを取り除いてください。

## 12. アフターサービスについて

- この警報器の保証期間はお買い上げ日から1年間です。保証書をご参照ください。  
保証書にお買い上げ日および販売店名の記載がない場合は、保証書とともに、お買い上げ日および販売店名がわかるもの(レシート等)をご提示ください。  
保証書(保証書にお買い上げ日および販売店名の記載が無い場合はそれがわかるものもあわせて)は大切に保管してください。
- 設置から10年経過した警報器は、規定の濃度で警報しないなど誤動作のおそれがあります。新しい警報器と取り替えてください。
- 警報器に異常がある場合は、「11.故障かな?と思ったら」の項目、処置をご確認ください。処置をしても異常がある場合は販売店またはサポートセンターまでお問い合わせください。
- 電池切れになったときは、販売店またはサポートセンターまでお問い合わせください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店またはサポートセンターまでお問い合わせください。

## 13. 仕様

項目	仕様	
型 式 名	SC-335	
電 源	専用リチウム電池 CR17335EG	
電 池 寿 命 <sup>#1</sup>	約10年	
定 格	DC3V,300mA	
使 用 温 度 範 囲	0℃～+40℃(結露しないこと)	
寸 法	W75×H75×D52mm(突起部を除く)	
質 量	約145g(電池含む)	
付 属 機 能	故障お知らせ機能、電池切れお知らせ機能 交換期限お知らせ機能	
火 災 警 報 機 能	種 別	光電式住宅用防災警報器 (CO反応式) <sup>#2</sup>
	感 知 方 式	煙感知方式
	型 式	電池方式、2種、自動試験機能付
C O 注 意 報 機 能	表 示 ・ 発 報 方 式	即時警報型・自動復帰式 赤(火災警報)LED点滅、 音声合成音(70dB(A)/m以上)
	検 知 対 象 ガ ス	住宅で発生する一酸化炭素 (CO)
	検 知 方 式	電気化学式
C O 注 意 報 機 能	公 称 作 動 濃 度	100ppm
	表 示 ・ 発 報 方 式	即時警報型・自動復帰式 黄(CO注意報)LED点滅 音声合成音(70dB(A)/m以上)

※1 ご使用の環境・条件などによって短くなる場合があります。  
※2 一酸化炭素を100ppm検知した場合、煙感度を通常設定より約2倍に高める機能です。

保証書			
本書はお買い上げ日から下記期間中に故障が発生した場合に、本書記載の内容で無料による交換をお約束するものです。			
警報器型式 SC-335			
保証期間 お買い上げ日から1年間			
お買い上げ日	年	月	日
お客さま	お名前		様
	電 話 ( )		-
販売店	住所・店名		
	電 話 ( )		-

(保証者)

### 新コスモス電機株式会社

(無料交換規定)

- 取扱説明書、本体に表示の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、本書をご提示いただくことにより無料交換をさせていただきます。  
無料交換をご依頼になる場合には、サポートセンターまでお問い合わせください。  
本書にお買い上げ日および販売店名の記載がない場合は、本書とともに、お買い上げ日および販売店名がわかるもの(レシート等)をご提示ください。
- 本書に定める保証の範囲は機器本体(専用電池を含む)とします。  
機器本体以外に生じた損害は、本保証書に定める保証の対象ではありません。
- 保証期間内でも次のような場合には原則として有料交換となります。
  - (1) 使用上の誤り、不適当な修理、および分解、改造されたことによる故障、および損傷。
  - (2) お買い上げ後の取付場所の移送、輸送、落下衝撃などによる故障、および損傷。
  - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガス等)、異常温度、異常雰囲気、異常電圧等による故障および損傷。
  - (4) 一般家庭用以外(例えば業務用設備、車両、船舶など)に使用された場合の故障、および損傷。
  - (5) 過度な頻度で警報器を点検したことにより電池が消耗した場合。
  - (6) 取付場所が不適切で、調理の煙や湯気、ホコリなど、住宅環境による警報発生により電池が消耗した場合。
  - (7) 本書のご提示がない場合。
  - (8) 本書にお買い上げ日および販売店名がない場合(ただし、それらがわかるレシート等のご提示がある場合を除く)。あるいは文句を書き替えられた場合。
- 本書は日本国内のみ有効です。  
本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※ この保証書は、保証期間内に本書に示す条件において無料交換をお約束するものです。  
※ この保証書によって、保証書を発行している者(保証者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。  
※ This warranty is valid only in Japan.